

<日本経営工学会 卒業論文・修士論文発表会講演予稿集 原稿作成の手引き>

ここでは、卒業論文・修士論文発表会講演予稿集の原稿の作成方法について説明する。
2ページ目のレイアウトを参照しながら以下の説明を読むこと。

1)用紙と大まかなレイアウトについて

- ・用紙は、A4判の用紙を縦に使用し、横書き4ページとする。
- ・余白は、上部余白：24mm、下部余白：25mm、左右の余白：15mmとする。
- ・また、タイトル行を含め、全体の行数は約45行とし、「目的」以下の本文の行は、段間8mmの2段組とする。段中の1行の文字数は全角19文字とする。
- ・フォントは全て明朝体とする。

2)各行の書式について

	文字サイズ(pt)	行間隔(pt)	文字間隔(pt)
第1行目 論文タイトルの行	14	16	
第2行目 空白行	10.5	14	1
大学・学部・学科名と発表者氏名	12	14	1
空白行	10.5	14	1
2段組の本文	10.5	14	1

- ・論文タイトルの行
論文タイトルは1行目のセンターへ記入する。
タイトルが2行にわたる場合は、タイトルの頭をそろえる。
- ・大学・学部・学科と発表者名の行
行の最後に1文字分の空白を入れる。氏名と氏名の間は1文字分の空白を入れる。
- ・基本的に数値やアルファベットは半角文字を使用する。

3)本文の構成

本文の構成は、概ね、「目的」「方法」「結果と考察」「結論」「参考文献」の順序で構成されていることが望ましいが、研究課題によっては、そのような構成が適当でない場合がある。そのような場合は、指導教員の指示にしたがうこと。

4)図表の挿入

図や表を挿入する場合は通し番号をつけ、図1、図2、...とし、その次に表題を書く。表には表1、表2、...のように番号をつけ、その次に表題を書く。

5)参考文献について

引用した文献は、番号をつけて、末尾に「参考文献」として一括して記載する。雑誌からの引用は、原則として著者名、題目、誌名、巻、号、頁、(西暦年号)、の順に記す。単行本からの引用は、原則として著者名、書名、出版社、頁、(西暦年号)、の順に記す。

